

令和5年度及び6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会会議録

日時 令和6年4月25日(木) 14:00～15:30

場所 長岡京市立中央公民館市民ホール

出席者 47名

乙訓障がい者基幹相談支援センター・キャンパス・乙訓ひまわり園地域連携室・アンサンブル・向日市社協障がい者地域生活支援センター・こらぼねっと京都(2)・アイリス・乙訓ポニーの学校・大山崎町社会福祉協議会(2)・乙訓障害者支援事業所連絡協議会・乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会・向日市社協ホームヘルプセンター・きりしま苑・乙訓若竹苑・晨光苑・乙訓福祉会・乙訓医師会・京都府乙訓歯科医師会・京都府歯科衛生士会・西山病院・京都済生会病院・乙訓訪問看護ステーション連絡会・京都府立向日が丘支援学校・京都府乙訓教育局(代)・乙訓青年会議所・京都府身体障害者団体連合会乙訓ブロック・乙訓やよい会・乙訓の障害者福祉を進める連絡会・乙訓保健所福祉課(2)・乙訓福祉施設事務組合(2)・向日市市民サービス部(6)・長岡京市健康福祉部(4)・大山崎町健康福祉部(3)

欠席者 3名

長岡病院・京都七条公共職業安定所・長岡京市商工会

事務局 3名

傍聴者 4名

配布資料

- ・次第
- ・令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書(案)
- ・令和6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画(案)
- ・別添資料

議事の流れ

令和5年度全体会

開会

事務局 ・令和5年度及び令和6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催させていただく。
本日は両年度の同時開催のため、それぞれの委員の皆さまに参加いただいている。

向日市、長岡京市、大山崎町、各部長紹介

会長挨拶 柴田 晶子 向日市市民サービス部長

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営要綱により、令和5年度は向日市が会長を務めさせていただいた。乙訓圏域での障がい者福祉行政の推進に理解、協力を賜り御礼申し上げます。

・平成19年に乙訓2市1町が共同で設置した本協議会も今年で17年目を迎えた。この間、障がい者福祉に関する情報共有や地域の課題解決に向けて、様々な活動を積み重ねてこられたのも今日までの皆さまの努力の賜物であると存じる。

・平成18年に障がい者の権利に関する条約が国連で採択されて以降、国内においても平成24年に障害者虐待防止法、平成25年に障害者総合支援法、平成28年に障害者差別解消法が施行された。本年4月からは障害者差別解消法の改正により合理的配慮の提供が行政機関等だけでなく事業者も義務化されるようになるなど、障がい者をめぐる社会情勢は大きく変化してきた。

・今まだ、存在する障がい福祉の課題の解決に向けては行政としても協議会の一員として共に考え、乙訓圏域の障がい福祉の向上に努めて参りたいと思う。今後ともよろしくお願ひしたい。

協議事項 令和5年度 事業報告(案)について

1 運営報告 山田 洋平 自立支援協議会事務局

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 運営報告(案)を説明

2 「医療的ケア」委員会 委員会報告 池田 広記 委員長

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 「医療的ケア」委員会 活動報告(案)を説明

3 人材確保・育成部会 部会報告 森井 詳太 部会長

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 人材確保・育成部会 活動報告(案)を説明

4 就労支援部会 部会報告 上田 佳子 部会長

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 就労支援部会 活動報告(案)を説明

5 プロジェクト報告

(1) 相談支援プロジェクト 報告 山田 洋平 代表 ※小柳氏欠席のため報告者を変更

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 相談支援プロジェクト 活動報告(案)を説明

(2) 喀痰吸引等研修プロジェクト 報告 三宅 州人 代表

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 喀痰吸引等研修プロジェクト 活動報告(案)を説明

(3) 精神障がい者地域生活支援プロジェクト 報告 石田 早苗 副代表

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 精神障がい者地域生活支援プロジェクト 活動報告(案)を説明

(4) 児童発達支援プロジェクト 報告 伊藤 美恵 代表

※令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 児童発達支援プロジェクト 活動報告(案)を説明

会長 ・協議事項については全ての報告が終わった。全体を通して、質問や意見はあるだろうか。なければ、令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書を向日市、長岡京市、大山崎町並びに京都府に提出して良いだろうか。

※一同拍手

会長 ・賛同いただいたので、令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会の報告書は各市町等に提出させていただく。
・以上をもって、令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を終了させていただく。

令和6年度全体会

事務局 ・令和6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催させていただく。
・この協議会は乙訓二市一町で共同設置されたものであり、乙訓圏域障がい者自立支援協議会運営要綱に基づき、会長職には二市一町の障がい福祉担当部長がその職務を行うと定められている。令和6年度においては大山崎町健康福祉部長にその職に就いていただくこととなる。
会長から挨拶をお願いしたい。

会長挨拶 沖 和哉 大山崎町健康福祉部長

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営要綱により、令和6年度は大山崎町が会長を努めさせていただく。
・乙訓圏域での障がい福祉行政の推進に理解と協力を賜ると共に本協議会の活動に積極的に参加、支援をいただいていることに心より厚く御礼申し上げます。昨年度に引き続き今年度も自立支援協議会への支援、協力をよろしくお願いしたい。

自己紹介

協議事項 令和6年度 事業計画(案)について 山田 洋平 自立支援協議会事務局

1 部会等を設置する

- (1) 「医療的ケア」委員会
- (2) 就労支援部会

・引き続き設置し、必要な協議を行う。

2 プロジェクト等を設置する

- (1) 相談支援プロジェクト

- (2) 喀痰吸引等研修プロジェクト
- (3) 精神障がい者地域生活支援プロジェクト
- (4) 児童発達支援プロジェクト
- ・以上を設置し、引き続き必要な協議を行う。

3 各種団体・機関の研修会等を支援する

・令和5年度においては乙訓障がい者就労支援ネットワーク「たけのこ」、乙訓絆サークルにコアメンバーとして参加し、取組を一緒に考えさせていただいた。また、地域包括支援センターの研修にも協力させていただいた。引き続き令和6年度も協力させていただきたい。

4 ネットワークを構築する

- (1) 協議会のホームページを充実する
- (2) 情報の相互提供の推進を図る
- (3) 他のネットワークとの連携を図る

・令和6年度事業計画（案）裏面に令和6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会と他の機関等関係図を載せている。矢印が伸びているが、関係機関を載せている。このような機関等と引き続き連携させていただく。

・自立支援協議会の活動についてはホームページに掲載させていただく。

・プロジェクトについては傍聴を入れない形で進めている。協議内容を知りたいという声もあり、簡単な内容だがホームページで報告させていただきたいと思う。

5 その他 目的達成のために必要なことを行う

・障がい福祉に関する施策や施設整備等の様々な情報のうち、乙訓圏域に関係するものについて、運営委員会や部会等において情報共有を行うというところで、引き続き必要な情報共有を行っていきたい。

会長 ・協議事項についての協議に入る。質問や意見があればお願いしたい。

委員 ・皆様には支援の現場や自立支援協議会の取組の中で尽力いただき、ありがとうございます。向日が丘共生型地域づくり構想について、昨年もその中で取組が予定されている短期入所の定員問題、重度の障がいがある人達の受入れについてどうなっているのか情報提供や利用者側のニーズの拾い上げについてお願いした。今年度も委員会等で情報共有していくということにだけ触れられている。できれば利用者側の意見も直接聞いていただけるような場を設けていただきたい。

・共生型地域づくり構想の中で児童発達支援センターが設置されることになっている。実施する予定の事業所が圏域外の事業所なので、圏域のことをどれだけ知っているのかわからないが、児童発達支援プロジェクトの報告にもあったことを引き継いでいったり、情報共有をしていかないといけないと思うので、できれば早めに自立支援協議会に入らせていただく等の方法で進めていっていただければと思っている。

・令和4年度に相談支援プロジェクトの中で、基幹相談支援センターに求められる役割を協議

した。基幹の役割がだんだん明確になってきていると思う。設置の方法が複雑で市町が共同で設置している形で、利用者がわかりにくい状態だと思う。体制についても昨年度は2名欠員のままで一年が過ぎ、大変厳しい状況だったと思う。その上に2市1町からの求められることも、整理されていくが故にたくさん集まってきているような気がしている。加えて自立支援協議会の事務局も引き受けてくれている。相談支援プロジェクトの委員をしているが相談支援事業所が基幹に助けを求めたい気持ちがあっても我慢しているような状況も垣間見られた。実施を主体的に行うのは市町だと思う。その辺りを市町としてはどう考えているのか聞かせていただきたい。

会長 ・共生型地域づくり構想については長岡京市からお答えいただきたい。

オブザーバー・共生型福祉施設整備事業の中で、懸念されている状況である児童発達支援センターの実施法人が圏域外から参入されるというところで、圏域のことを十分に知っておられないのではないかとこのところから、できるだけ早く自立支援協議会にも参画されて、この地域のことを理解された方がよいのではないかとこの提案を頂戴した。その点については法人とも話している。事業のスタートが令和8年4月の予定だがそれよりも前にプロジェクト等に関わるような形で進めていきたいと思っている。タイミングについては事務局と相談していきたい。

・意見交換の場、話し合いを設けていただきたいということについては要望があれば懇談会という形でも考えていきたいと思う。

・事業が進んできており、詳細もこれから詰めていくような状況に差しかかっている。施設のハード面については形づいてきているかなと思うが、ソフト面についてはこれからである。乙訓障害者支援事業所連絡協議会の事業者に向けた説明会や障がい福祉に関わっている方々への説明会も企画していきたいと考えている。事前に情報発信していきたいと思っている。

会長 ・基幹相談支援センターの設置について市町の考え方を伺いたいということだが、答えられる範囲でお願いしたい。

委員 ・基幹相談支援センターに対して求めている役割というのは以前に比べて整理もされてきているかと思う。今年度からは職員が1名増員の4名体制でスタートしている。向日市も基幹相談支援センターとは自立支援協議会の運営に関して等の情報交換の場において、意見交換をさせてもらっている。また、基幹相談支援センターの今の状況等も定期的に聞く場を設けている。今後も引き続き課題については行政として把握をしながら対応していきたいと思っている。

委員 ・今年度1名増員されたということで、昨年度よりは人数も増加されている。求められる機能は整理されるが故に多くなってきているというのが現状かと思う。長岡京市としても基幹相談支援センターと相談もさせていただきながら、サポートさせていただくということで今年度進めていきたいと思う。課題の共有、解決に向けて進めていきたいと考えている。

委員 ・大山崎町としても基幹相談支援センターと現状についての情報共有、意見交換を進めていき、より良い運営になるよう努めていきたいと考えている。

委員 ・共生型の地域づくり構想のところ意見交換について懇談会も考えてくれているということだったので、ぜひその点はよろしくお願ひしたいと思う。

会長 ・他に意見や質問等はあるだろうか。

・他に意見がないようであれば、令和6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会の事業はこの計

画（案）に従って進めていきたいと思うが、承認いただけるだろうか。

※一同拍手

会長 ・では、この計画に従って進めていきたい。
・以上をもって、令和6年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を終了させていただく。
長時間にわたり会議へのご協力ありがとうございました。

閉会